2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　ＧＭＯメディア株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　6180　　URL https://www.gmo.media/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）森　輝幸
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　（氏名）石橋　正剛　TEL　03-5456-2626

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（アナリスト・機関投資家向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,966	△8.0	469	△41.5	477	△40.5	326	△44.8
2025年12月期第３四半期	5,398	9.9	802	35.3	803	35.8	592	38.3

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　325百万円（△44.8%）　2025年12月期第３四半期　590百万円（　38.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	181.54	179.42
2025年12月期第３四半期	330.16	324.53

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,741	2,975	51.4
2025年12月期	6,311	3,152	49.6

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　2,951百万円　　2025年12月期　3,132百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	0.00	0.00	0.00	241.00	241.00
2026年12月期	0.00	0.00	0.00		
2026年12月期(予想)				210.00	210.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	6,550	△7.9	550	△38.9	555	△38.1	375	△42.0	209.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　有

※ 業績予想の修正につきましては、本日（2026年11月12日）公表致しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　－社（社名）　　、除外　　－社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	1,868,839株	2025年12月期	1,868,839株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	81,032株	2025年12月期	61,632株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	1,799,030株	2025年12月期３Ｑ	1,793,215株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は、2026年11月13日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（収益認識関係） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続的な賃上げの進展により「所得と物価の好循環」への期待が高まっております。その一方で、長引く物価上昇と構造的な労働力不足が、企業にとって深刻な経営課題として顕在化しております。

こうした環境のもと、当社が注力する「学び・美容医療」市場は、個人消費の選択高度化、リスキリング需要の拡大、自由診療領域への関心の高まりを背景に、着実に成長を続けております。当社は、これらの成長領域における業界特化型事業、特にストック型DXサービスの拡大を成長戦略の中心に据え、ストック収益の積み上げによる収益構造の強化を計画的に推進しております。

当第３四半期連結累計期間においては、美容クリニックや教室・協会向けのストック型DXサービスが堅調に拡大し、業界特化型事業のストック売上高は前年同期比68.2%増加致しました。一方、業界全体におけるWeb広告単価の下落や検索エンジン経由の流入状況の変化、および美容医療領域において、前年度好調であった商材における競争過熱による売上減少などを背景に、メディア事業およびソリューション事業でフロー型収益が前年同期を下回って推移しました。

これらの外部環境の変化に対しては、提携媒体ネットワークの拡大、AIO（AI最適化）対策の強化など、各事業で対策を順次実行しております。ただし、施策の効果が業績に表れるまでには一定の期間を要しており、当第３四半期連結会計期間の業績への寄与は限定的なものにとどまりました。引き続きこれらの施策を推進し、段階的な収益の改善を図ってまいります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は4,966百万円（前年同期比8.0％減）、営業利益は469百万円（前年同期比41.5％減）、経常利益は477百万円（前年同期比40.5％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は326百万円（前年同期比44.8％減）となりました。セグメント別の業績については、以下の通りになります。

①メディア事業

本セグメントは、当社の顧客基盤を背景に、ポイント・ゲーム関連メディアおよび業界特化型メディア（学び・美容医療）を運営しており、広告や課金によるフロー収益と、事業者向けDXサービスによるストック収益で構成されております。当第３四半期連結累計期間においては、美容クリニック向け経営支援プラットフォーム「キレイパスコネクト byGMO」等の業界特化型ストック事業が引き続き拡大基調を維持致しました。また、2025年５月に承継した美容クリニック向け電子カルテ・予約システム「MEDIBASE byGMO」の寄与もあり、ストック収益は前年同期比で伸長しております。一方、前年度好調であった商材における競争過熱による売上減少のため、フロー収益は前年同期を下回りました。

学び領域においては、検索エンジン経由の流入状況の変化に対応したAIO対策の強化と並行して、講師や協会向けオンライン講座販売・会員管理システム「コエテコカレッジ byGMO」、塾・教室向け運営管理システム「コエテコマネージャー byGMO」、生成AI活用作問・採点支援ツール「コエテコStudy byGMO」等のストック型サービスを多面展開しており、契約件数が継続して順調に増加しております。ポイント・ゲーム関連領域においては、広告業界全体の環境変化を背景に、広告事業のフロー型収益が前年同期を下回って推移しました。一方で、課金事業は堅調に推移しております。今後は、ゲームユーザーの課金機会の拡大による収益伸長のための取り組みを進めるとともに、提携媒体ネットワークの拡大による収益寄与を見込んでおります。

以上の結果、メディア事業の売上高は4,601百万円（前年同期比5.0％減）、営業利益は485百万円（前年同期比30.7％減）となりました。

足元では、ストック収益である美容クリニック向けDXサービスが順調に契約数を積み上げており、学び領域でも複数のストックサービスを立ち上げ、契約件数が継続的に順調に増加しております。今後は、これらのストックサービスの成長をさらに加速させるとともに、外部環境の影響を受けにくい収益基盤の構築を進めてまいります。

②ソリューション事業

本セグメントでは、メディア事業で培った集客およびリピーター創出のノウハウを外部展開し、提携パートナーのファン育成・リピート促進を支援するサービス、ならびに成果報酬型広告プラットフォームを提供しております。

当第３四半期連結累計期間においては、ポイントCRMサービスの大口顧客について、前連結会計年度中に発生した契約条件の見直しの影響が継続したほか、成果報酬型広告プラットフォームにつきましては、市場の成熟化に伴い広告主の選択肢が増加し、広告代理業を介さない直接出稿が増加したことなどから、厳しい事業環境が継続しております。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は365百万円（前年同期比33.9%減）、営業損失は15百万円（前年同期は営業利益101百万円）となりました。

ポイントCRMサービスにおいては、提携パートナー数の拡大と特定パートナーへの依存度の構造的な低減を図っております。また、ソリューション営業人材の獲得および育成を強化するとともに、そのリソースを成長分野である学び関連事業のクライアント開拓にも活用し、収益機会の最大化を図ってまいります。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は5,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ570百万円減少致しました。これは主に、関係会社預け金が250百万円、現金及び預金が153百万円、売掛金が53百万円、貯蔵品が52百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は2,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円減少致しました。これは主に、未払金が166百万円、未払法人税等が121百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は2,975百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円減少致しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益326百万円を計上した一方で、配当金435百万円の支払いおよび72百万円の自己株式の取得を行ったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2026年２月10日に公表致しました業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日（2026年11月12日）公表致しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2026年12月期の配当につきましては、2026年２月10日に公表致しました配当予想より変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,782,944	1,629,333
関係会社預け金	1,600,000	1,350,000
売掛金	1,228,378	1,174,774
商品	6,337	－
貯蔵品	95,398	43,141
その他	287,467	314,991
貸倒引当金	△2,874	△4,371
流動資産合計	4,997,651	4,507,869
固定資産		
有形固定資産	18,139	19,206
無形固定資産		
のれん	293,736	269,234
その他	390,702	360,271
無形固定資産合計	684,439	629,506
投資その他の資産		
その他	637,845	611,434
貸倒引当金	△26,192	△26,192
投資その他の資産合計	611,652	585,241
固定資産合計	1,314,231	1,233,954
資産合計	6,311,883	5,741,824
負債の部		
流動負債		
買掛金	890,053	889,190
未払金	1,013,499	846,826
１年内返済予定の長期借入金	3,900	3,900
未払法人税等	135,864	14,124
ポイント引当金	816,374	834,851
その他	269,113	149,742
流動負債合計	3,128,805	2,738,635
固定負債		
長期借入金	16,811	13,744
資産除去債務	14,177	14,177
固定負債合計	30,988	27,921
負債合計	3,159,794	2,766,556

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	761,977	761,977
資本剰余金	929,707	930,477
利益剰余金	1,511,623	1,402,700
自己株式	△71,869	△143,394
株主資本合計	3,131,439	2,951,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	770	△37
その他の包括利益累計額合計	770	△37
新株予約権	19,879	23,543
純資産合計	3,152,089	2,975,267
負債純資産合計	6,311,883	5,741,824

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	5,398,591	4,966,381
売上原価	2,792,673	2,770,462
売上総利益	2,605,917	2,195,919
販売費及び一般管理費	1,803,605	1,726,688
営業利益	802,311	469,230
営業外収益		
受取利息	7,227	13,611
助成金収入	596	－
受贈益	331	120
その他	5,557	1,184
営業外収益合計	13,712	14,916
営業外費用		
支払利息	625	270
投資事業組合運用損	8,153	4,605
暗号資産評価損	3,767	964
その他	0	722
営業外費用合計	12,546	6,563
経常利益	803,478	477,583
特別損失		
固定資産除却損	284	－
特別損失合計	284	－
税金等調整前四半期純利益	803,193	477,583
法人税、住民税及び事業税	183,642	120,310
法人税等調整額	27,489	30,659
法人税等合計	211,132	150,970
四半期純利益	592,060	326,613
親会社株主に帰属する四半期純利益	592,060	326,613

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	592,060	326,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,401	△808
その他の包括利益合計	△1,401	△808
四半期包括利益	590,659	325,804
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	590,659	325,804

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メディア事業	ソリューション事業	計
売上高			
広告取引関連収益	3,027,424	377,194	3,404,619
課金取引関連収益	1,653,612	30,728	1,684,341
その他収益	164,544	145,085	309,630
顧客との契約から生じる収益	4,845,582	553,008	5,398,591
外部顧客への売上高	4,845,582	553,008	5,398,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	4,845,582	553,008	5,398,591
セグメント利益	700,451	101,860	802,311

(注) １．セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
２．セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メディア事業	ソリューション事業	計
売上高			
広告取引関連収益	2,715,465	227,286	2,942,752
課金取引関連収益	1,717,464	29,393	1,746,858
その他収益	168,288	108,481	276,770
顧客との契約から生じる収益	4,601,219	365,162	4,966,381
外部顧客への売上高	4,601,219	365,162	4,966,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	4,601,219	365,162	4,966,381
セグメント利益又は損失（△）	485,029	△15,798	469,230

(注) １．セグメント利益又は損失（△）の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
２．セグメント利益又は損失（△）には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	52,976千円	72,654千円
のれんの償却額	28,893千円	24,501千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。